

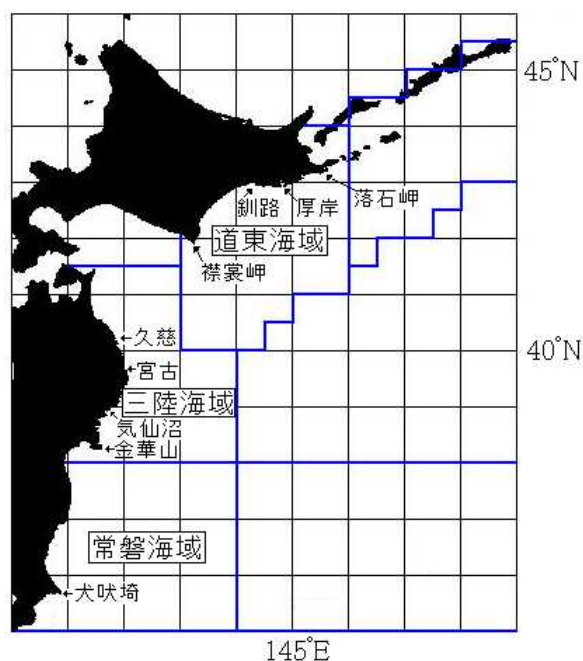
2020年度 第1回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2020年9月中旬～10月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、10月中旬になると来遊する可能性があるが、来遊量は前年より少ない。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊があるが、来遊量は前年より少ない。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、藤井
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

2020年度 第1回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2020年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

8月下旬は、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか魚群が分布しておらず、漁場は前年よりも沖合であった。また漁獲量は前年よりも少なかった。これらのことから、9月中旬～10月上旬は、道東海域への魚群の来遊は無い。道東海域よりも東沖の公海における来遊量は、9月中旬～下旬は低水準であり、前年よりも少ない。10月中旬～10月下旬になると、沖合から道東海域に魚群が来遊する可能性もあるが、来遊量は前年よりも少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

(2) 漁場

9月中旬～10月上旬は、道東海域には漁場は形成されず、主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月中旬～10月下旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

9月中旬～10月中旬は、来遊は無い。10月下旬になると断続的な来遊があるが、来遊量は前年よりも少ない。多くの魚群は、三陸海域よりも東側を南下する。

(2) 漁場

10月下旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量				— →	— →
	動向				断続的	断続的
	漁 場				落石沖	落石沖
三陸海域	来遊量					— →
	動向					断続的
	漁 場					三陸沖合

3. 漁況の経過概要（8月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域～花咲港東北東沖に漁船が出漁したものの、操業できるような魚群を発見できなかった。これらのことから、道東海域～花咲港東北東沖における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域東側の公海で、前年同期よりも沖合である落石東北東750～780海里であった。この漁場でも最高7.5トしか漁獲できず、来遊量は前年同期よりもかなり少なかった。このように、魚群は前年よりもさらに沖合に分布しており、分布量は前年よりもかなり少なかった。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海、落石東北東750～780海里であった。また落石東南東300海里、落石東南東860海里にも漁場が形成された。漁場は前年同期よりも沖合であった。漁場が遠いため、小型船の多くは出漁できなかった。

落石東北東750～780海里の漁場水温13℃では、大型船50隻程度と小型船数隻操業。大型船で最高7.5ト、平均1.2ト程度しか漁獲できなかった。

落石東南東300海里の漁場水温18℃では、21日夜に大型船12隻程度操業し、最高0.5ト漁獲した。

落石東南東860海里の漁場水温19℃では、22日夜に大型船17隻程度操業し、最高1ト漁獲した。

(3) 魚体

道東海域よりも東側の、落石東北東750～780海里では、体長28～29cmモードであった。体重は110～120g台が主体であった。

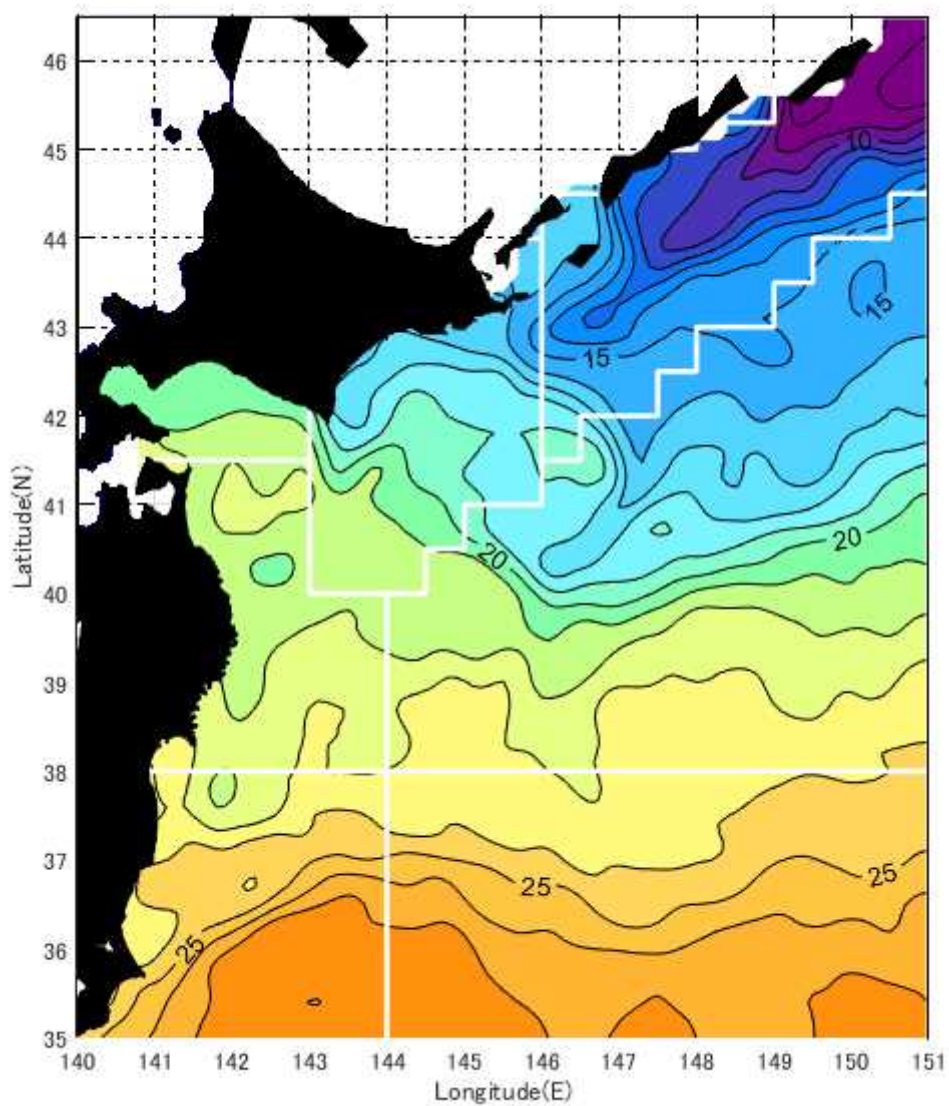
※常磐海域の予報については、第3回（9月30日発表予定）から行う。

※サンマ中短期予報の作成方法について

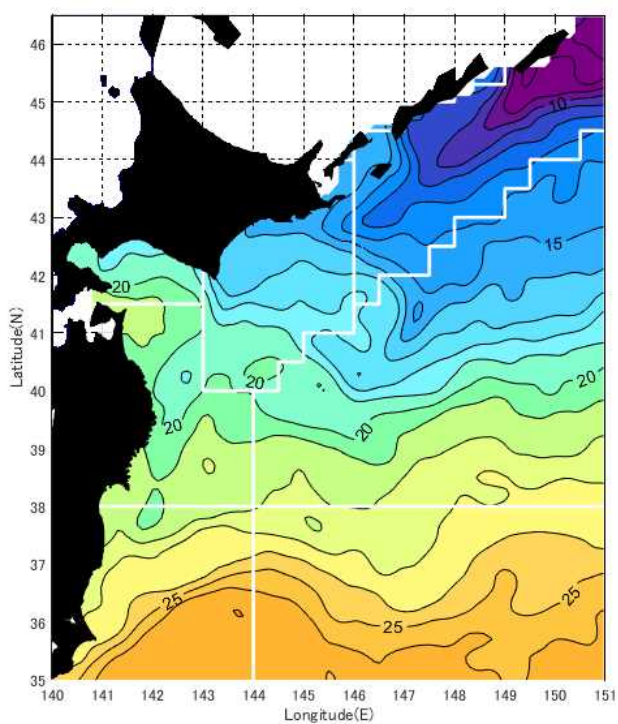
サンマ中短期予報は、数量化Ⅰ類を使用した予測モデルの結果を利用している。この予測モデルは、「予測を行う直前のサンマの来遊状況（今回の場合、8月下旬の海区別資源量指数）」と「予測海域の予測対象旬における表面水温の占有率（予測水温分布図から計算）」をパラメータとして使用している。予測水温分布図は、漁業情報サービスセンターが作成した海況図を用い、統計モデルを使用して予測した結果である。

4. 予測水温分布図

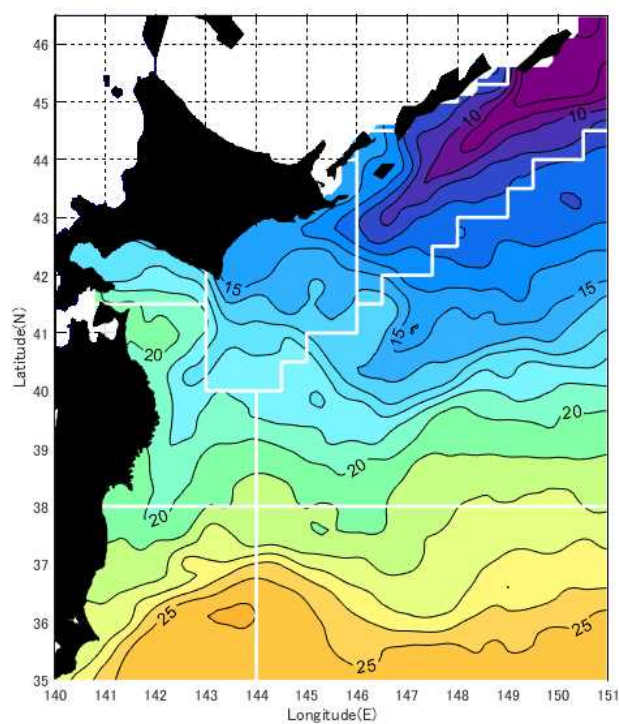
9月中旬予測表面水温分布図



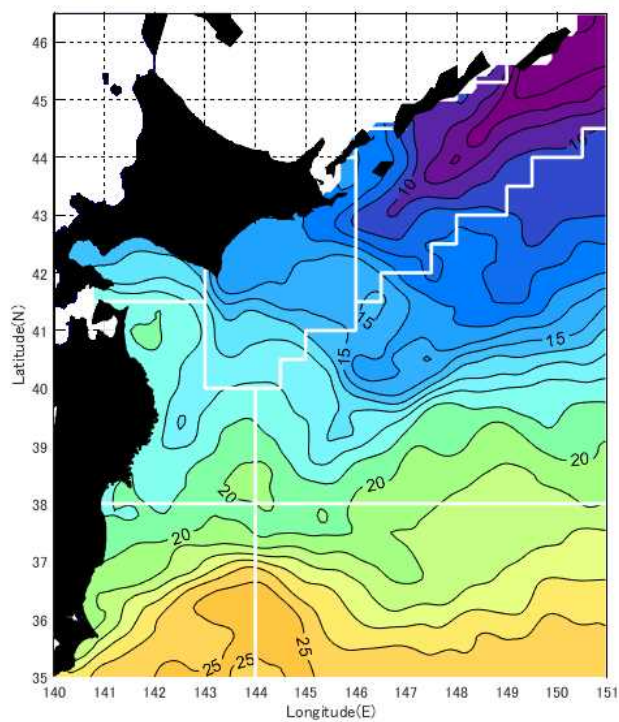
9月下旬予測表面水温分布図



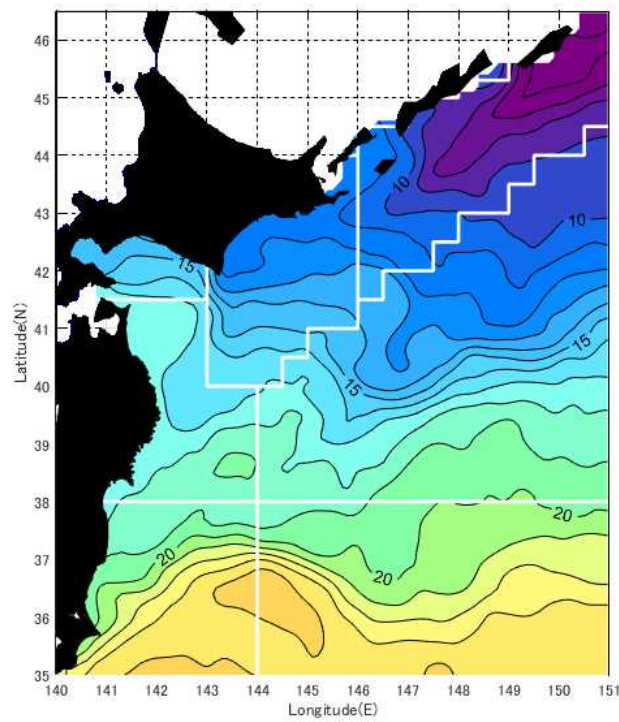
10月上旬予測表面水温分布図



10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---